

松陽便り 第302号

とりで スクール・アートフェスティバル

1月19日(土)から25日(金)まで、取手ウェルネスプラザにおいて取手市内の全ての高校が参加して「とりで スクール・アートフェスティバル」を開催しています。

19日(土)13時からオープニングセレモニーが実施されました。作品展示は24日(木)までで、開催時間帯は午前10時から午後6時(24日は午後5時まで)となっています。25日(金)には取手松陽高等学校卒業演奏会(開場:午後4時30分、開演:午後5時、入場無料)が開催されます。皆さまのご来場をお待ちしています。

美術などさまざまな生徒の  
作品が並ぶ取手市新町



日本画、ロボットも  
取手7高の作品展  
25日まで  
取手市内の高校7校の芸術作品を一堂に展示する「とりで・スクール・アートフェスティバル」

トフェスティバル」が取手市新町の取手ウェルネスプラザで開かれている。日本画からロボットまで、生徒らの力作80点以上が飾られている。

会場では日本画、水彩画、油絵のほか、人体や温度を感知する取手一高のロボット作品や、藤代紫水高の書道作品など、さまざまな分野の作品を見ることが出来る。

第42回全国高校総合文化祭(昨年8月、長野県)の美術・工芸部門で本県代表に選ばれた、取手松陽高3年、伊藤夢絵さんの平面デザイン作品「花様年華」や同校3年、大竹爽風杏さんのオレンジ色が鮮やかな有線七宝

「マリーゴールド」も展示している。

会期は25日まで。入場無料。午前10時～午後6時(24日は同5時まで)。最終日は午後5時から取手松陽高等学校の卒業演奏会がある。

TXら鉄道10社  
スタンプラリー

抽選で賞品

つくばエクスプレス(TX)を運行する首都圏新都市鉄道など首都圏の鉄道10社は、沿線の駅のスタンプを集めた人に、抽選で賞品をプレゼントする「私鉄10社 宝探しスタンプラリー ナゾ鉄クラブと幻の電車」を3月21日まで行っ

絵画、彫刻、造形など90点 24日まで

## 取手の7高校が 合同アートフェス

取手市にある県立・私立7高校の生徒らの芸術作品を一堂に集めた「とりで・スクール・アートフェスティバル」が同市新町2の取手ウェルネスプラザで開かれ、絵画、彫刻、造形など個性豊かな90点を展示中だ。美術科がある県立取手松陽高が各校に呼びかけ、初めて実現した。



●多数の顔がアクリル絵の具で描かれた「Requiem」(右) ●フクロウの彫刻「エクリプス」(左)＝いずれも取手市新町2で



・レノンら多くの顔を描いた絵画「Requiem」(取手松陽3年、中瀬智紀さん)▽粘土を素焼きにしたフクロウの彫刻「エクリプス」(江戸川学園取手1年、小野内航大さん)などが目を引く。

県立取手一はからくり時計などを出展。県立の取手二、藤代、藤代紫水と、聖徳大付属取手聖徳女子のほか、小中高一貫教育の江戸川学園取手中学・小学校も参加。

取手松陽美術科の赤平純子主任教諭は「地元の高校の良さを知っていたら、生徒や教員の交流にもつながっていく」と説明。来年も合同アートフェスを開く計画だ。

展示は24日まで。開場時間午前10時～午後6時(24日午後5時終



取手一高の生徒制作のからくり時計。1時間おきに音楽が流れ、星形の模様が変わる

了)。翌日午後5時から、取手松陽音楽科の卒業演奏会を開催。3年生14人がそれぞれピアノやトランペットなどをソロ演奏する。入場無料。

【安味伸一】

1月22日(火)付け、毎日新聞より

各新聞社の皆さま、取材していただき、誠にありがとうございます。